熊本地震から学ぶ教育旅行

防災・減災教育旅行プログラムの取り組みについて

VOL.04



くまもとの教育旅行のさまざまなプログラムに関することは

熊本県観光物産協会 観光振興課

(公社)熊本県観光連盟

熊本県教育旅行サイト





熊本地震震災ミュージアム「記憶の廻廊」について

熊本地震 震災ミュージアム
Kumamoto Earthquake Museum

熊本地震震災ミュージアムとは

平成28年熊本地震の記憶や経験、教訓を確実に後世に伝承し、今後いつどこで起こるか分からない大規模地震災害に備えるため、県内に点在する震災遺構等を活用した回廊形式のフィールドミュージアムを実現する。

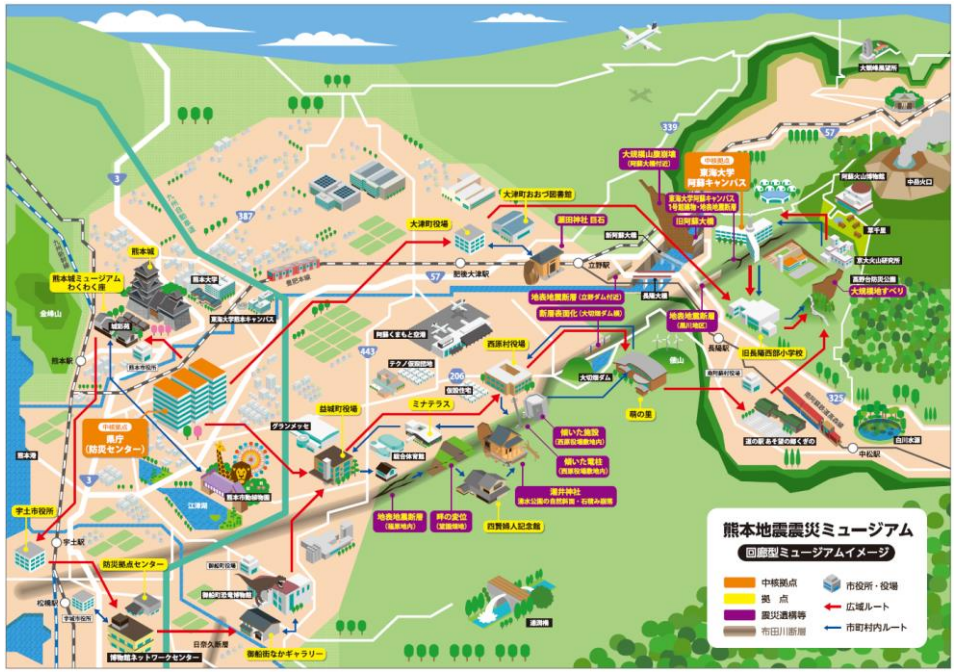
⇒ この取組を通して**交流人口の拡大を図り、被災地域ひいては本県の更なる発展**に繋げる

◆基本コンセプト
- **熊本地震の経験や教訓を学び、風化させずに後世に伝承**
- 今後の大規模自然災害に向けた防災対応の強化
- 熊本の自然特性を学び、改めて自然を畏れ、郷土を愛する心を育成
- **国内外からの交流人口の拡大を図り、被災地域、ひいては本県の更なる発展につなげる**

◆震災ミュージアムの形態
熊本地震の特徴を踏まえ、広範囲にわたり出現した断層帯にそって点在する震災遺構と地域の拠点など熊本地震の痕跡を遺すものをつなぎ広域的にめぐる
「回廊形式」のフィールドミュージアムとする。

◆震災ミュージアムの構成
・震災遺構など
・県が広域的な視点から熊本地震全体に関する情報を効果的に発信するために整備する「中核拠点」、市町村がそれぞれの視点から情報を発信するために整備する「地域の拠点」
・既存の文化交流施設、企業活動の場など熊本地震の痕跡を残すもの　等

【熊本地震震災ミュージアムの実現に向けた基本方針】平成30年３月策定



熊本地震の震災遺構

◆震災遺構 **５８** 件（令和３年11月現在）


旧阿蘇大橋の橋桁
（南阿蘇村）


国指定天然記念物　布田川断層
（益城町）


瀬田神社と巨石
（大津町）


ガードパイプ
（西原村）


旧東海大学阿蘇校舎１号館
（南阿蘇村）


扉角山付近の地表地震断層
（南阿蘇村）

震災ミュージアムの拠点施設

◆中核拠点 **２** 施設（令和３年11月現在）
県が広域的な視点から熊本地震全体に関する情報を発信する拠点


県防災センター
（熊本市）


旧東海大学阿蘇キャンパス
（南阿蘇村）

◆地域の拠点 **15** 施設（令和３年11月現在）
市町村がそれぞれの視点から情報を発信する拠点


熊本城
（熊本市）


小森仮設団地みんなの家
（西原村）


街なかギャラリー
（御船町）


旧長陽西部小学校
（南阿蘇村）

熊本地震震災ミュージアム「記憶の廻廊」について

熊本地震 震災ミュージアム
Kumamoto Earthquake Museum

中核拠点（旧東海大学阿蘇キャンパス）

熊本地震の実情が遺る旧東海大学阿蘇キャンパスにおいて、熊本地震を追体験し、教訓等を後世



◆体験・展示施設の整備計画

○屋外の震災遺構（旧１号館・地表地震断層）を保存し、展示するだけでなく、**体験型の展示**を中心に整備

○**自然の驚異とそこからもたらされる恵み**を学び、今後の**災害への備え**が重要との認識につなげる学習を可能とするとともに、震災ミュージアムの廻廊内における地域の情報を発信し、**地域振興や観光振興**につなげる

○施設内では、展示物の展示だけでなく、熊本地震の経験を語る方々**（地震語り部）の講演**や、**セミナーの開催などの交流機能**、震災ミュージアム全体を案内する**総合窓口機能**を整備

○大型車及び普通車100台程度が駐車可能な来場者用駐車場（身障者駐車場）を確保

○進化するミュージアムとして、展示物を定期的に見直し・更新するため、**更新のしやすさに配慮**

◆体験・展示施設の概要

総事業費	約１７億円（震災遺構の保存除く）
オープン	**令和５年度（2023年度）**予定
施設所在	熊本県阿蘇郡南阿蘇村（旧東海大学阿蘇キャンパス内・阿蘇くじゅう国立公園）
敷地面積	約29,400㎡
整備主体	熊本県
施設諸元	延床面積約1,200㎡　木造+一部鉄筋コンクリート造平家建 展示室（展示室1～3）、シアタールーム、交流ラウンジ、事務室完備
施設設計	o+h・産紘設計JV 代表者　大西麻貴+百田有希/o+h（東京都）

体験・展示施設のイメージパー











中核拠点へのロビン像設置

「ONE PIECE」熊本復興プロジェクトとして。県内８か所に麦わらの一味の像を設置。

旧東海大学阿蘇キャンパスにも、
令和３年（2021年）10月9日に**ロビン像**が
設置され、多くの方に来場いただいている。



中核拠点の現在の活用状況

防災学習や修学旅行をはじめとして、県内外から来場いただく。
（R3.10月の１月で約9,300人を超える方々が来場）





熊本地震震災ミュージアム～熊本地震記憶の廻廊～

■コンセプト

・熊本地震の経験や教訓を学び、風化させず確実に後世に伝承する。
・今後の大規模自然災害に向けた防災対応の強化を図る。
・熊本の自然特性を学び、改めて自然を畏れ、郷土を愛する心を育む。
・震災ミュージアムの取組みを通して、国内外からの交流人口の拡大を図り、被災地域、ひいては熊本県の更なる発展につなげる　。

■内容

①熊本地震の痕跡が残る震災遺構
・旧東海大学阿蘇キャンパス内の震災遺構（旧東海大学阿蘇キャンパスを含め県内58カ所の震災遺構あり）
2020年3月整備完了

②体験・展示施設
・熊本地震に関する情報を効果的に発信する体験・展示施設（旧東海大学阿蘇キャンパス内）の整備
2023年夏OPEN予定

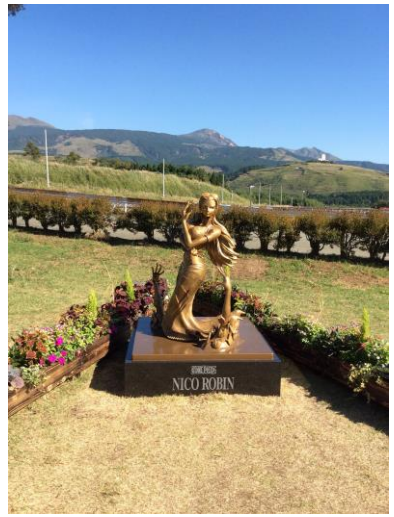
各地域の拠点
・熊本地震に関する情報を地域の視点から発信する拠点を８市町村に整備（順次公開）

旧東海大学阿蘇キャンパス









阿蘇市PROGRAM

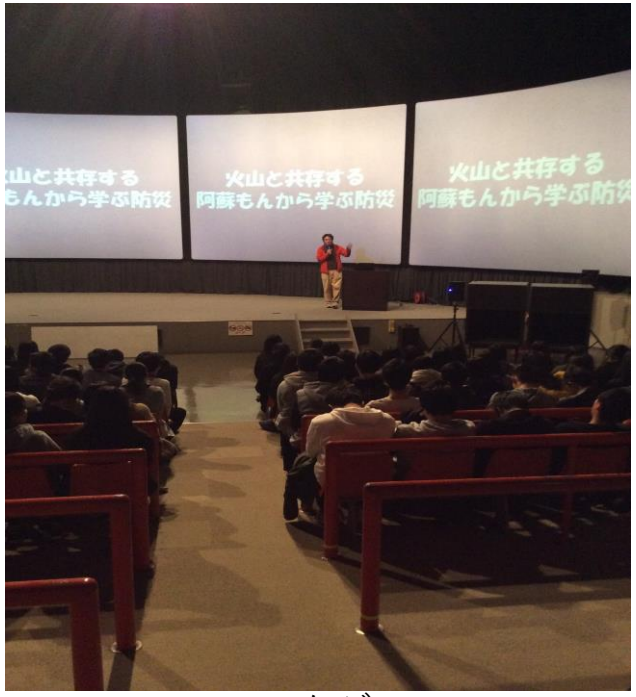
火山と共存する
阿蘇人（あそもん）から学ぶ防災

自然災害のメカニズムはじめ、地域の自然環境や、防災・減災について学習します。阿蘇がもたらす恩恵（景観、温泉、食、**地下水**など）を知り、そこに住んできた人々が火山と共存しながら生活してきた知恵を現地ガイドの話を通じ、学ぶことができます。





阿蘇人（あそもん）による
プレゼンテーション







2016熊本地震によって、阿蘇でも大きな被害を受けました。
そのなかで、地震のメカニズムや防災・減災への心得、復旧・復興の在り方など、私たちはたくさんのことを学びました。
それらのことを実際に体験した阿蘇人（あそもん）が、わかりやすく子どもたちに語り伝えます。

館長　池辺伸一郎

阿蘇火山博物館1階にオープンしました阿蘇山上ビジターセンターは、開設後1ヶ月で
3万5千人を超える多くの入館者数となり順調なスタートとなりました。
ビジターセンターでは、活火山中岳、烏帽子岳、草千里、杵島岳、往生岳などを中心とした阿蘇山上の
雄大な景観や動植物の自然情報、阿蘇山上で楽しめるトレッキングなどの観光情報が手に入ります。
阿蘇火山博物館とともにお気軽にお立ち寄りください。

スケジュール

所要時間90分：映像（阿蘇の成り立ち）15分・プレゼンテーション30分・館内委案内45分

受入人数　～200人※200人を超える場合はご相談ください。

南阿蘇村PROGRAM　南阿蘇からはじまる未来～明日への懸け橋

南阿蘇村では、地震動による山腹崩壊や地すべりなどの山間地特有の現象により、道路や橋梁等の交通インフラにも甚大な被害がはっせいしました。数千年に一度といわれる直下型の大地震の被害の大きさや教訓を後世に伝えていくための震災遺構を保存し、防災・減災への意識を高めます。

講話会場（予定）



南阿蘇村総合温泉センター「ウィナス」収容120名

スケジュール

所要時間（120分）

講話（語り部）　40分

現地ガイド2カ所　80分

受入

30～160名程度

（1～4クラス）

※該当人数以外の場合は

要相談

※出張講話要相談



コロナ対策

会場講話の代わりに
遺構地区3か所
にて実施対応

南阿蘇村　阿蘇大橋・阿蘇長陽大橋付近・高野台

南阿蘇村
阿蘇長陽大橋付近

平成29年8月　熊本地震で一部が崩落するなどした南阿蘇村の阿蘇長陽大橋と戸下大橋の応急復旧工事が終わり、二つの橋を含む3kmの「長陽大橋ルート」が開通。
現在も周辺の工事が行われています。





高野台の大規模地すべり

平均斜度15度の緩勾配にも関わらず、表層（5～10m）が約600m滑り落ちる大規模な地滑りが発生し、住宅5棟が倒壊。発災直後の救助活動は地盤が不安定で難航いたしました。現在は更地となり、防災公園としての整備が行われている。

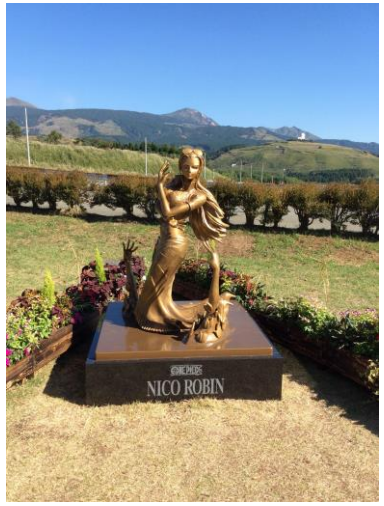
大規模斜面崩壊と崩落した阿蘇大橋

幅約200m、長さ700mの大規模斜面崩落が発生し、阿蘇大橋崩落をはじめとする阿蘇への主要道路・鉄道が寸断。熊本地震による最大規模のインフラ被害となり、生活・観光・物流に大きな爪痕が残りました。現地では右横ずれ断層も確認できます。



旧東海大学阿蘇キャンパス

1号館は昭和48年（1973）に竣工され、長い間、東海大生の学び舎として活躍してきました。建物の真下を断層が貫いており、断層の変位による建物への影響を直感的に把握することができます。震度6強の揺れを受けながら倒壊しなかった建物と断層が一体的に保存されている事例は国内に例を見ません。





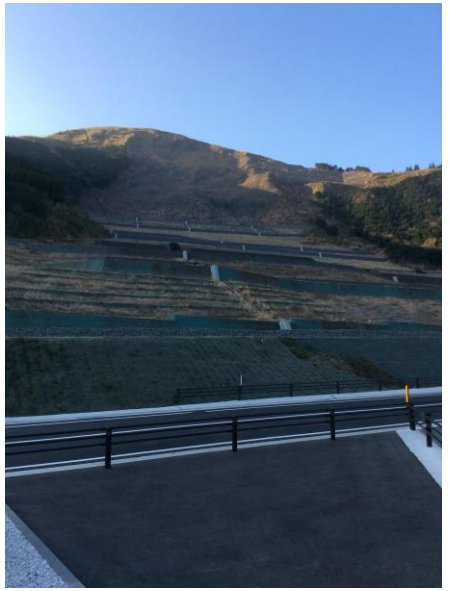


数鹿流崩之碑展望所

熊本地震の傷跡が今も…

熊本地震で大きく崩れてしまい
国道も線路も大きな被害を受けました。
以前紹介の
震災遺構「旧東海大学阿蘇校舎1号館」
そこからも大きく崩れた山肌が見えていましたね。
寸断されて不通になっていた
JR九州豊肥線肥後大津～立野～阿蘇駅間が不通区間
2020年8月8日に全線復旧しました。
国道57号も10月3日に復旧開通しました。

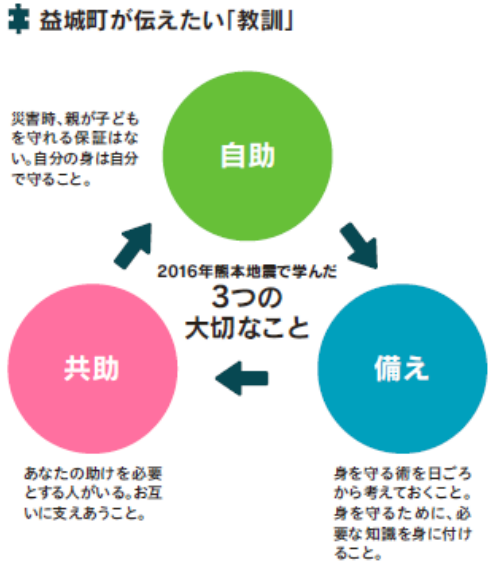




益城町PROGRAM

益城町が学んだ教訓～震度7×2～

熊本地震では、気象庁観測史上初「震度7」を2回観測し、甚大な被害が発生した益城町において当時の体験談(語り部による講話)や震源となった天然記念物「布田川断層帯地帯」の見学(現地ガイドによる案内)を通じ、自助や共助について学ぶとともに、防災や減災等の危機管理意識を高めます。



スケジュール

（所要時間：120分）
※移動。トイレ休憩含む

語り部講話	40分
谷川地区断層見学	40分
堂園地区断層見学	40分

受入～240人程度
※該当人数以外の場合は相談ください。

講話会場



ミナテラス視聴覚室

コロナ対策：DVD講話実施
（バス内にて）



料理人　サンジ

地震と伝説との関係を知る

布田川断層帯【堂園地区】



「堂園池」に隣接する圃場に約180mにわたり表出した地表地震断層。「クランク状」に見える畦や作物が、横ずれ変位の規模を視覚的に伝える。その横ずれ変位の最大値は、約2.5mである。この地域周辺は『大蛇伝説』が民話として残されており、今回表出した断層は、まさに「大蛇の通り道」といった様相を呈する。地元によれば、地震発生後の「堂園池」は黒く濁ったという。有識者によれば、台地上に位置する「堂園池」が形成された背景にも、地震断層が起因するという。







地震断層と地震の脅威を知る

布田川断層帯【谷川地区】



民家宅地内に共益断層が「V字型」に表出している。狭い範囲で「V字型」に表出した地表地震断層であることから、同一視点よりそれらの分岐を確認する事ができる国内でも稀有な標本である。家屋の眼前を横断する左横ずれ断層は、長さ約40m、北側沈下による縦ずれ変位の最大値は約70cmである。宅地を袈裟懸け状に走る右横ずれ断層は、長さ約35m、南側沈下による縦ずれ変位の最大値は約40cmである。左横ずれは断層はうち西側に位置する納屋の直下に表出しており、地表地層断層が建物等構造物に及ぼす影響やそのスケールを視覚的に感じることができる。









熊本市　PROGRAM　今こそ見てほしい熊本城～記憶の記録～

熊本地震で被災した熊本城。お城に毎日関わるからこそ持つことができた郷土愛や防災意識について語ります。
今こそ見てほしい熊本城の姿があります。

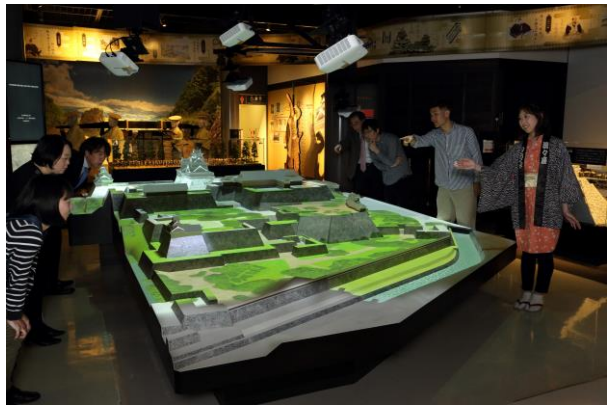
熊本城ミュージアムわくわく座　特別プログラム＆よかとこガイド

熊本城ミュージアムわくわく座を特別に貸し切り、熊本城の秘密や仕組みをVR映像で鑑賞。また、震災直後の熊本城の様子をドローン映像で紹介するとと共に、スタッフが熊本地震を語ります。合わせて、日々間近で熊本城を見守ってきたガイドさんならではの目線で、最新の熊本城の復旧状況を実際に紹介します。









スケジュール（所要時間：120分）
朝プログラム
　受付・オリエンテーション（わくわく座）
　わくわく座貸し切りプログラム（30分）
　トイレ休憩（10分）
　熊本城ガイド（75分）
　わくわく座到着・解散

受入人数　30～160人程度（1～4クラス）
※該当人数以外の場合はご相談ください。

防災GAME　震災の教訓を生かすために作られた「クロスロード」

目的

カードゲームを通じ、参加者は、災害対応を自らの問題としてアクティブに考えることができ、かつ、自分とは異なる意見・価値観の存在への気づきも得ることができる。
防災に関する困難な意志決定状況を素材とすることによって、決定に必要な情報、前提条件についての理解を深めることができる。

クロスロードとは、阪神・淡路大震災で、災害対応にあたった神戸市職員へのインタビューをもとに作成された、カードゲーム形式の防災教材。「大都市大震災軽減化特別プロジェクト」（文部科学省）の一環として、矢守克也氏（京都大学防災研究所准教授）、吉川肇子氏（慶應義塾大学商学部准教授）、網代剛氏（ゲームデザイナー）によって開発された。

クロスロードの問題カードには、「3000人いる避難所で、2000食を確保した。この食糧を配るか配らないか」など、どちらを選んでも何らかの犠牲を払わなければならないような「ジレンマ」が多数ある。

プレイヤーは、自分なりの理由を考え、苦心の末に「Yes」か「No」か、一つだけを選び、自分の前にカードを裏返して置く。合図で一斉にオープンし、多数派の人は、青座布団を獲得できる。一人だけの人がいる場合、その人は金座布団を獲得し、他のプレイヤーは何ももらえない。座布団の配当を終えたら、問題を全員で話し合ってみよう。

その人が「Yes」または「No」を選んだ理由を聞くことで、多くの価値観や視点に出会うことができる。

10枚のカードを終えたときに、一番多くの座布団を持っていた人が勝ちとなる。その場に座布団がない場合は、お菓子で代用することも可能。

また、自主防災会などでは、地域独自の問題を作ってプレイするのもためになるだろう。

クロスロードは、災害を自分の身に引き寄せて考えると同時に、他者のさまざまな考えを知ることができる、優れたゲームである。



クロスロードのカード（商品には、紙座布団がついています）
問い合わせ先：京都大学生活協同組合（電話：075-771-7336）

http://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/torikumi/kth19005.html

https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/633910/12_3crossroad.pdf

防災GAME

避難所避難所運営ゲーム「HUG」

- 熊本地震における、被災者支援のありかたが問われるなか、静岡県が2007年に開発した避難所運営ゲーム「HUG」が注目を集めています。



HUG（ハグ）は、避難所（Hinanzyo）運営（Unei）ゲーム（Game）の略であり、また英語の「抱きしめる」という意味から、避難所において避難者をやさしく受け入れるというイメージで名付けられました。

「HUG」は、ボードゲームを通じて避難所の運営ノウハウを学べるツール。名前は「避難所」「運営」「ゲーム」の頭文字から取られており、「避難者を優しく受け入れる（ハグする）」という意味合いも。これまで各地域の自治体や町内会において、防災の講習会に活用されています。

2007年当時、静岡県では大地震の被災経験がなく、対策のノウハウを得る手段に苦慮していたそうです。そこで、より実践的なノウハウを学べるツールとして、「HUG」を開発。その後各地の講習会で活用され、導入した仙台市泉区では、東日本大震災時に「HUG」で得た経験が役立ったとのこと。

https://www.n-bouka.or.jp/local/pdf/2015_03_28.pdf

お求め方法
避難所HUGのお求めは、下記までお問い合わせください♪

NPO法人静岡県作業所連合会・わ
電話：054-275-0070
FAX：054-275-0072
E-mail：minnanoomise@ssrwa.org←@を半角にしてください。
〒420-0856静岡市葵区駿府町1-27勝山ビル

お申込みについて：http://sswa.jp/article/394.html

昼食　阿蘇ミルク牧場





西日本地区の料理コンクールで入賞しました。







- **最大受け入れ人員**
- **平日　２２０名（コロナ対策中要確認）**

http://aso-milk.jp/

らくのうマザーズ 阿蘇ミルク牧場
(asomirukubokujyou)
〒861-2404　熊本県阿蘇郡西原村河原3944-1
TEL:096-292-2100　FAX:096-292-2107



1～3F　草千里展望レストラン　受入100名（要問合せ）



ニュー草千里

〒869-2231
熊本県阿蘇市永草2391-15
TEL 0967-34-0131
FAX 0967-34-2180
URL http://www.newkusasenri.com
E-mail info@newkusasenri.com

http://www.newkusasenri.com/

http://www.newkusasenri.com/news/docs/%E5%AD%A6%E7%94%9F%E5%9B%A3%E4%BD%93%E6%A7%98MENU.pdf

Free Wi-Fi

草千里ビュッフェ
ASO BuONO
阿蘇ヴォーノ









熊本・阿蘇郷土料理を含む和洋中・デザート・
ソフトドリンク類など約７０種類のバイキング

修学旅行　SET MENU

りんどうポーク陶板焼膳



熊本県産豚のりんどうポークは、きめ細やかな甘みのある味は熊本の味覚のひとつです。
太平燕（タイピーエン）とは、鶏ガラベースのスープに麺が春雨、その他豚肉・魚介類・野菜などの具材を入れて煮込んだ熊本名物料理です。

阿蘇王（あか牛）ハンバーグ膳



熊本県産あか牛の愛称を「阿蘇王」と呼びます。
ジューシーなあか牛ハンバーグをご賞味下さい。
だご汁は味噌ベースの汁に小麦粉で練った団子と野菜を一緒に煮込んだ阿蘇の郷土料理です。

阿蘇ファームランド

大阿蘇レストラン

施設のお問い合せ
0967-67-2100 受付時間 9:00～17:00 年中無休

栄養素・カロリーを明示した健康バイキング

管理栄養士による徹底監修を受けた健康バイキングをご用意しております。
カロリーや栄養価を明示しており、１品50kcalの見本を見ながら一食あたり700kcalを目に 健康的な食事をお楽しみいただけます。
レストランの店内からは、一面の大きなガラス窓より阿蘇の山々が一望でき、 開放的な空間の中でゆっくりとお食事を楽しんでいただけます







皆様に安心安全にご利用いただけるよう、非接触型の最先端システムを設置。センサーに手をかざすと１皿ずつでてきて、料理を受け取ることができます。





一度に３００人以上入ることができる広い店内で、ゆっくりと食事を楽しむことができます。大きなガラス窓からは、阿蘇の美しい景色は望めます。食事を囲めば、心も和みます。

(昼)11:00～15:00 (オーダーストップ 14:30)